

# 第1章 基本政策

## 第1節 基本目標1

知恵にあふれ心豊かな人づくり

### 政策1-1 多様な能力を育み、心豊かでたくましい青少年を育成する

**目的** 持てる能力や個性を最大限に発揮して、次代を切り拓くことができる、自ら学び考える力を身につけた、心身ともに健全で自立した青少年を育成する。

**現状と課題** 社会環境が激しく変化し、人々の価値観やライフスタイルも多様化・複雑化している中、青少年が豊かな人間性を育み、自ら学び考え、たくましく生きることができる力を身につけることがこれまで以上に重要になっています。

一方で、いじめや不登校等の問題は依然憂慮すべき状況にあり、また健全な青少年を育むために重要な役割を果たす家庭や地域社会の教育力の低下が叫ばれるなど、早急に対応しなければならない課題が山積しています。

そこで、心豊かでたくましく、社会の変化に柔軟に対応できる青少年を育むためには、確かな学力を身につけ、体験活動などを通じ豊かな心を培い、一人ひとりの持つ能力や個性を最大限に伸ばす教育を行うとともに、家庭・学校・職場・地域等すべての人々が連携・協力して、県民総ぐるみで青少年の健全育成に向けた環境を整えていくことが求められています。

#### 目的実現に向けた取組の方向

- ・ 学ぶ力を育む教育の充実
- ・ 個性を生かす特色ある教育の充実
- ・ 青少年を取り巻く環境の健全化の推進
- ・ 心の教育の推進
- ・ 自立した青少年の育成

など

### 政策1-2 生きがいとうるおいに満ちた人生を実現する

**目的** 生涯にわたり生きがいを持って生活ができ、豊かな心で“とちぎ”の文化を守り創造し、そして継承できる社会を実現する。

**現状と課題** 価値観が多様化し、さまざまなライフスタイルが志向される中で、心の豊かさやゆとり、潤いを重視し、スポーツ、文化活動などを通じて、生涯にわたり生きがいを持って社会に参加していきたいと考える人々が増えてきています。

このため、これらのニーズに的確に対応した活動の場や学習機会の充実と、学んだ成果を地域社会等に生かす仕組みづくりが求められています。

また、ゆとりと潤いに満ちた質の高い生活を実現していくためには、人々の心のよりどころである郷土の文化を守り伝え、その基盤の上に新たな文化を創造し、そして誇りを持って次の世代へ継承していくことも重要になってきています。

#### 目的実現に向けた取組の方向

- ・ 生涯学習の推進
- ・ 県民文化の振興
- ・ 県民総スポーツの推進

など